

再整備の方針について

(1) 再整備に向けた視点と配慮すべき事項の整理

関連事業・計画における勾当台公園の位置づけの下、勾当台公園の現況特性等を踏まえ、再整備に向けて配慮すべき事項を整理した。

◇関連事業・計画

関連施策の中で必要となる視点	
<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市基本計画 ・仙台市みどりの基本計画 ・本庁舎建替 ・定禅寺通活性化 ・せんだい都心再構築プロジェクト <p>等</p>	<p>【場・空間・機能として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杜の都を象徴する文化交流の場 ・多くの人が集う、魅力ある都市空間 ・「緑の回廊」の連続性・グリーンインフラ推進 ・防災環境機能 <p>【利用・過ごす時間・体験として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定禅寺通・勾当台通を歩いて楽しむ ・就業者と居住者が行き交う日常的な賑わい ・まちづくりの歴史でもあるイベント等の市民活動

【勾当台・定禅寺通エリアビジョン】

「交流」と「ゆとり」を
楽しむところ
みんなで育む
“仙台の庭”

勾当台・定禅寺エリアの中心部としての役割

“交流”と“ゆとり”の2つの軸が交差する市民活動を象徴する空間

- ① 多くの人々が気軽に立ち寄り、多彩な活動に触れられる公共空間
- ② 新庁舎と定禅寺通が連続したシームレスな利活用空間
- ③ 文化芸術・市民活動、各種イベント開催の公民協働の活動空間



- 再整備に向けた視点
- ① 歴史
 - ② 用途地域・交通等
 - ③ 公園・緑地・街路樹
 - ④ 自然環境（地形・植栽）
 - ⑤ 景観
 - ⑥ 公園施設
 - ⑦ 利用（日常、イベント）
 - ⑧ 動線アクセス手段
 - ⑨ 防災

◇勾当台公園の特性

- ・3つの広場の機能連携と立地特性に応じた利活用
- ・公園整備の歴史・文化の保存と継承
- ・市民が集うイベント広場としての利活用の維持・発展
- ・徒歩で回遊できるアクセス性、交通結節点としての機能の活用
- ・防災機能の確保

◇公園施設の機能充実・更新

- ・まとまりのある広場空間の確保と適切な通行空間の連携配置
- ・樹木の生育環境の改善、老朽施設の修繕・リニューアル
- ・歩行空間の快適性・安全性・バリアフリーの確保
- ・グリーンインフラとしての機能形成

◇公園運営

- ・情報発信機能の向上
- ・官民連携（PPP）等の導入
- ・多様な主体が協働するパークマネジメントの導入
- ・ブランディング

(2) 将来像・目指すべき姿の設定

①利用者像と利用シーン

現状の利用状況を踏まえ、利用者像（ターゲット）、利用シーン（Park LIFE）を以下に想定した。

利用者像	利用シーン（Park LIFE）
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民・ファミリー ● 仙台を訪れる人々（街歩き・観光・買い物） 	<ul style="list-style-type: none"> ● みどりの中を散策、お気に入りの風景を楽しむ。 ● 定禅寺通から公園までジョギングでセルフフィットネス。 ● 愛犬といつものコースでウォーキングを楽しむ。 ● 木陰のベンチでベストセラーの読書を楽しむ。 ● 移り行く四季の花や紅葉で憩いを楽しむ。 ● DATE バイクを停めてスマホで周辺情報や交通手段を調べる。 ● 赤ちゃんを連れてママ友と Café でおしゃべりを楽しむ。 ● 天気の良い休日はオープンテラスでファミリーランチを過ごす。 ● 買い物途中に飲み物を買って一休みする。 ● 子供たちを広い芝生で遊ばせて憩いのひと時を過ごす。 ● 重厚感ある石積みの壁泉前で公園の歴史を感じながら休む。 
<ul style="list-style-type: none"> ● 仙台の都心部で働く人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園を気持ちよく通り抜けて通勤。 ● 出勤前のストレッチで心と体の準備の場所として利用。 ● ランチは木陰でお弁当を広げ、ゆとりを感じて食べる。 ● デスクを離れて公園 Café で集中する。 ● 屋外のコワーキングスペースとして利用。 ● アイディア会議は風に吹かれて自由に話す場として利用。 ● Wi-Fi 環境でビジネスメールを済ませてゆとり時間をつくる。 ● 新幹線の時間までベンチで議事録を書きながらゆっくり過ごす。 ● 公園清掃など企業活動の実践の場として利用。 ● アフターファイブは公園で乾杯。 
<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な活動主体と参加する市民 	<ul style="list-style-type: none"> ● よさこい祭りやダンスフェスに参加して自己表現する。 ● 緑に染み込むクラシック音楽を聴いて癒される。 ● 迫力あるロックフェスに参加し踊ってリフレッシュする。 ● フリマに出店・参加して市民活動を体験する。 ● マルシェで安くて新鮮な野菜と果物を手軽に買える。 ● 全国のグルメを同時に食べて満足して帰る。 ● ブリーダーの集いで愛犬を自慢できる。 ● 歴史講座で公園を含め地域の変遷など長い歴史を知る。 ● 自然学習講座で花の種類・植え方を学ぶ。 ● ナイトシアターで懐かしいタイトルを楽しむ。 

街歩き・ウェルネス・観光で立寄る
ゆとりの空間

働く人が行き交う都心の
オープンスペース

多彩なイベントの場・にぎわいの場

②目指すべき姿

先述の再整備に向けて配慮すべき事項および利用シーンを踏まえ、目指すべき姿を設定した。

公園の再整備に向けて配慮すべき事項

◇関連事業・計画

“交流”と“ゆとり”の2つの軸が交差する

市民活動を象徴する空間

- ・多くの人々が気軽に立ち寄り、多彩な活動に触れられる公共空間
- ・新本庁舎と定禅寺通が連続したシームレスな利活用空間
- ・文化芸術・市民活動、各種イベントの開催等による公民協働の活動空間

◇勾当台公園の特性

- ・3つの広場の機能連携と立地特性に応じた利活用
- ・公園整備の歴史・文化の保存と継承
- ・市民が集うイベント広場としての利活用の維持・発展
- ・徒歩で回遊できるアクセス性、交通結節点としての機能活用
- ・防災機能の確保

◇公園施設の機能充実・更新

- ・まとまりのある広場空間の確保と適切な通行空間の連携配置
- ・樹木の生育環境の改善、老朽施設の修繕・リニューアル
- ・歩行空間の快適性・安全性・バリアフリーの確保
- ・グリーンインフラとしての機能形成

◇公園運営

- ・情報発信機能の向上
- ・官民連携(PPP)等の導入
- ・多様な主体が協働するパークマネジメントの検討
- ・ブランディング

利用シーン

街歩き・ウエルネス・観光で
立寄るゆとりの空間

働く人が行き交う都心の
オープンスペース

多彩なイベントの場・
にぎわいの場

目指すべき姿

1. 周辺まちづくりと一体的な広場をつくる

- 定禅寺通・勾当台通と連続し、緑の回廊を感じる空間の創出
- 新本庁舎や定禅寺通と連続した開かれた空間の創出
- 新本庁舎と連携した災害対応機能の強化

2. まちの回遊性を高める

- 歩いて休んで楽しいウォーカブル推進都市仙台形成への寄与
- 定禅寺通・勾当台通と連続した良好な通行・滞留空間の形成
- 歩行者環境の創出
- 交通結節機能の強化

3. 心地よいみどりの空間を整える

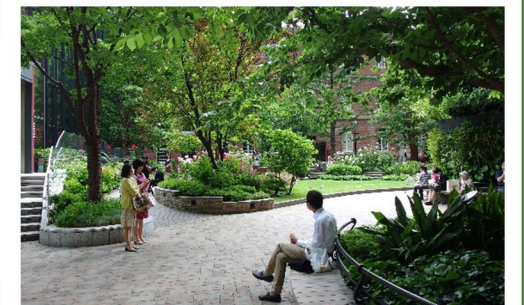
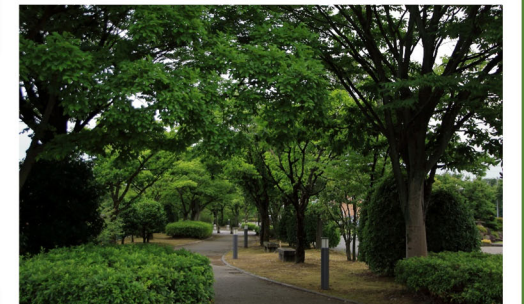
- 都市の中での開放感とシンボル性の形成
- 見通しの効く安全・安心が確保された空間の形成
- 心地よく滞留できる緑陰空間の形成
- 勾当台の歴史を感じさせる風格ある街の顔づくり

4. 交流を生み出す空間をつくる

- まとまりある広場空間として多様な活動ができるオープンスペースの確保
- 誰もが気軽に立ち寄り、交流する、賑わい空間の創出
- 多様な市民活動が可能な機能や設備の充実

5. 多彩な協働の仕組みをつくる

- 公園施設設置や運営管理における民間活力の導入
- パークマネジメント組織によるブランディング、まちの情報発信の推進
- 新たな使い方が可能となる運用



引用写真：豊島区 HP・千葉県 HP・東金市 HP

(3) 再整備に向けた3つの広場の方向性

勾当台公園の目指すべき姿の実現に向けて、3つの広場の空間構造を分節し、再整備の方向性を整理した。

	目指すべき姿				
	1. 周辺まちづくりと一体的な広場をつくる	2. まちの回遊性を高める	3. 心地よいみどりの空間を整える	4. 交流を生み出す空間をつくる	5. 多彩な協働の仕組みをつくる
にぎわいの広場 (市民広場)	<ul style="list-style-type: none"> □ 定禅寺通・勾当台通と連続し、緑の回廊を感じる空間の創出 □ 新本庁舎と連続した開かれた広場の創出 □ 災害対応機能を強化して地域防災力の向上 □ 新本庁舎から一番町四丁目商店街まで抜けるビスタを形成 □ 周辺オフィス等と連携した利活用検討 □ 緊急避難場所としての機能確保 	<ul style="list-style-type: none"> □ 歩いて休んで楽しいウォークアブル推進都市仙台形成への寄与 □ 定禅寺通・勾当台通と連続した良好な通行・滞留空間の形成 □ 歩道と公園との連続性・一体感の形成 □ つなぎ横丁との連続性・回遊性の確保 □ 歩行者動線の歩行環境の改良 □ 地下鉄出入口からのアクセス改善 	<ul style="list-style-type: none"> □ 都市の中での開放感とシンボル性の形成 □ 成長した木々と、低木等の整理によって見通しの良い景観の形成 □ 勾当台らしさを感じる歴史の風格と街角公園の顔づくり □ 定禅寺通・勾当台通との交差点としてふさわしい景観形成 □ 広場外周部の植栽の保全 	<ul style="list-style-type: none"> □ 新本庁舎、定禅寺通と連携した一体的利活用 □ カフェ前広場の改修 	<ul style="list-style-type: none"> □ 市民広場からの発信 □ カフェ等民間活動の場の拡大
らじおの広場	<ul style="list-style-type: none"> □ 本庁舎建替基本計画と連携した一体的なデザインの広場を創出 □ 緊急避難場所としての機能の確保 	<ul style="list-style-type: none"> □ 歩道と公園との連続性・一体感の形成 □ 歩行者動線の歩行環境の改良 □ 高低差に伴う移動弊害の解消方法検討 	<ul style="list-style-type: none"> □ 見通しを確保した林床の整備と適切な木陰空間の配置 □ 樹木の生育環境の改善、老朽施設の修繕・リニューアル □ 上段部からの眺めを楽しむ視点場の創出 □ 重厚感のある壁泉・石組・水路等景観資源の活用・改良 	<ul style="list-style-type: none"> □ 花壇・噴水等で分断されている下段部広場の一体的空間活用 □ 上段部広場(平和の像周辺)の再構築 □ 飲食等サービス機能の充実 □ 県庁側敷地・道路との連続性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> □ 野外音楽堂におけるイベント利用実績の継承と強化 □ 民間活力を導入した売店等運営の仕組みづくり
歴史の広場	<ul style="list-style-type: none"> □ 本庁舎建替基本計画等と連携した、勾当台通との一体的なデザインの広場の創出 □ 隣接する官庁への動線確保 	<ul style="list-style-type: none"> □ 歩道と公園、バス停と公園との連続性・一体感の形成 □ 通勤者等のためのゆとりある歩行者空間の形成 	<ul style="list-style-type: none"> □ 既設植栽帯の改良による勾当台通との見通し確保 □ 既設水路の保全・活用 	<ul style="list-style-type: none"> □ 休憩・学習・歩行者動線等多機能な空間形成による利用の増進 	<ul style="list-style-type: none"> □ 古図広場周辺空間の活用増進に向けた既往の情報の発信方法や空間整備の再検討

■ 勾当台・定禅寺通エリアの交流・賑わいの拠点となる広場 ■

■ 都心のみどりとゆとりを感じる広場 ■

■ 公園と通りが一体となったビスタ広場 ■

(4) 空間・施設整備の方針

再整備に向けた3つの広場の方向性を踏まえ、空間・施設整備の方針を整理した。

■ 勾当台・定禅寺通エリアの
交流・賑わいの拠点となる広場 ■

- 本庁舎建替事業と一体的な広場を形成
 - ・新本庁舎の低層部と連動した日常的な市民中心の交流の場の形成
 - ・各種イベント利用、情報発信力の強化
 - ・都市防災環境機能の強化
- 勾当台通と定禅寺通との開放的な空間形成
 - ・交差点部・地下鉄入口部としての顔づくり
 - ・勾当台通と一体的な歩行空間の形成
- 周辺オフィス等と連携した利活用の検討

■ 公園と通りが一体となった
ビスタ広場 ■

- 勾当台通と一体的な歩行空間の形成
 - ・ゆとりある通行帯としてリニューアル
 - ・バス停(道路)とベンチ(公園)を一体化した休憩スペースの形成
- 既設水路・古図広場の改良
 - ・県庁前のみどりとの一体的保全と古図広場の見直し

■ 都心のみどりとゆとりを
感じる広場 ■

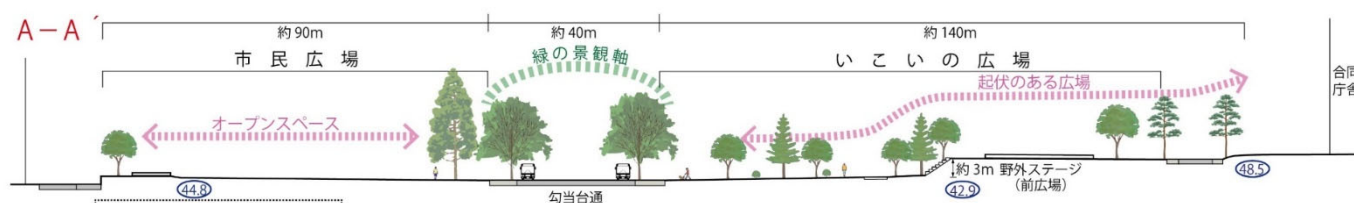
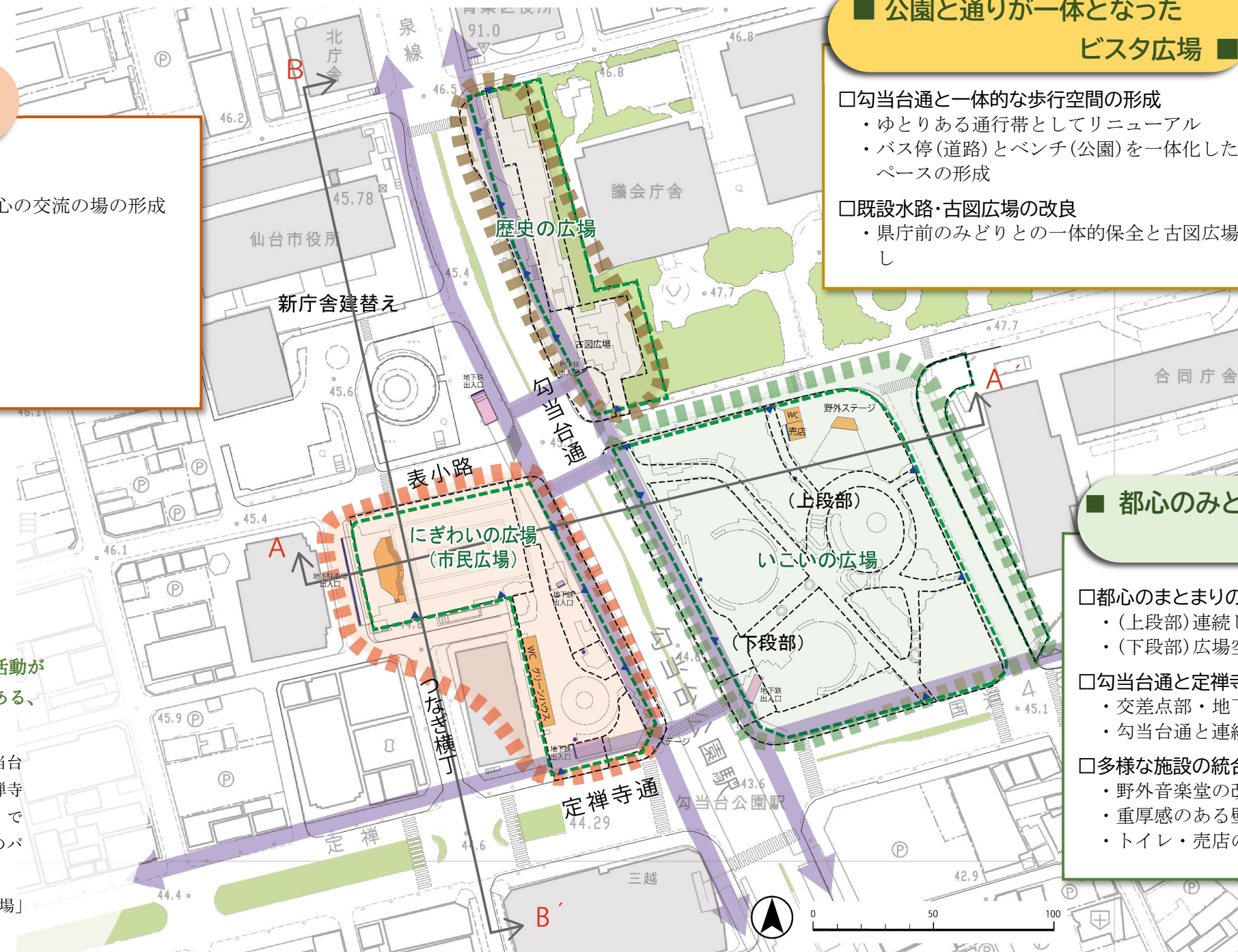
- 都心のまとまりのある緑と広場空間の再構築
 - ・(上段部)連続したまとまりのあるみどりの保全
 - ・(下段部)広場空間の統合と再構成
- 勾当台通と定禅寺通との開放的な空間形成
 - ・交差点部・地下鉄入口部としての顔づくり
 - ・勾当台通と連続する歩行空間の形成
- 多様な施設の統合と改修
 - ・野外音楽堂の改修
 - ・重厚感のある壁泉の保全と自然石積水路の改良
 - ・トイレ・売店のリニューアル

勾当台公園の将来像(仮)

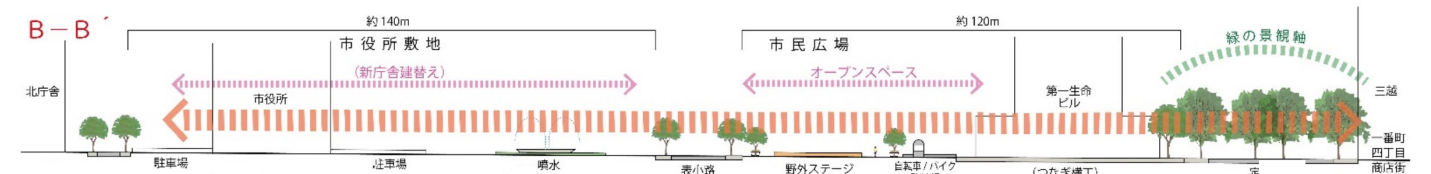
交流とゆとりが交差する
ひろば
杜の都のHIROBA『広場』

杜の都仙台を象徴するみどりとつながり、人々の活動が
繰り広げられる光景と、新しくそして懐かしさのある、
みんなの憧れの「広場」

- ・「広場」は人々が集い、協働する場の性格を持つ。勾当台公園は定禅寺通・勾当台通の辻にあり、本庁舎や定禅寺通と一体的な利用が可能な、人々が交流する「広場」であり、これからも多様な人々にとってのお気に入りのパブリックスペースとなる。
- ・勾当台・定禅寺通エリアが目指すまちを象徴する「広場」であり続ける。



□勾当台通に面した広場は相互の空間機能を連続・一体的に形成



□新本庁舎～(表小路)～市民広場～(つなぎ横丁)～定禅寺通の連続性を形成